

令和4年度上半期企画展 「溪斎英泉・歌川廣重の木曾街（海）道六拾九次」を開催します

平成30年に中山道歴史資料館へ寄贈された版画集『英泉 廣重 木曾街道六十九次』（復刻版）をメインとした企画展です。溪斎英泉や歌川廣重の構図や彩色へのこだわり、当時の中山道69宿それぞれの特色を中津川市内外の方々に紹介します。

■日時

令和4年3月29日（火）～10月2日（日）
9時30分～17時00分（入館は16時30分まで）
※休館日 毎週月曜日（月曜日が休館の場合は翌日）

■場所

中津川市中山道歴史資料館（中津川市本町2丁目2番21号）

■入場料

330円（団体270円）※団体は10人以上
中学生以下無料
六斎市（毎月第1日曜日）入館無料

■内容等

江戸の日本橋から近江の大津までの71枚の版画すべてを、第1展示室内の展示ケースや3面の壁面パネルを活用して一挙に展示、文学や絵に表現された当時の宿場町の姿に迫ります。

■特徴

- ・中山道69次、全71枚の内、中津川のみ「雨の中津川」と「晴れの中津川」の2枚が存在する理由について紹介します。
- ・十返舎一九の『木曾街道続膝栗毛』に描かれた市内三宿（中津川宿・落合宿・馬籠宿）の様子を紹介します。

お問い合わせ先

文化スポーツ部 中山道歴史資料館 担当者：西村

電話：0573-66-6888



歌川廣重画復刻版 中津川

木曾海道六拾九次之内 中津川「雨の景」歌川廣重画復刻版(当館蔵)



木曾海道六拾九次之内 中津川「晴れの景」歌川廣重画復刻版(当館蔵)



木曾海道六拾九次之内 落合 歌川廣重画復刻版(当館蔵)



木曾街道 馬籠驛 峠ヨリ遠望之圖 溪斎英泉画復刻版(当館蔵)

2022
3/29^[火]
▼
10/2^[日]

溪斎英泉・歌川廣重の
木曾街(海)道六拾九次

令和4年度 上期企画展

中津川市中山道歴史資料館
Nakatsugawa Nakasendo Historical Museum

〒508-0041 岐阜県中津川市本町2丁目2番21号
Tel:0573-66-6888 Fax:0573-66-7021

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入館料 330円(団体270円)※団体は10人以上
中学生以下無料 各種割引あり
六斎市(第一日曜日)入館無料

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

交通 中央自動車道「中津川IC」を国道19号線「中村交差点」左折「尾鳩口」右折経由で約10分・JR「中津川駅」から徒歩15分

ホームページ <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>



HPはこちら

木曾街(海)道六拾九次

平成30年に寄贈いただいた「英泉筆 廣重筆 大錦木曾街道六十九次」の版画集(復刻版)の全70景71図を初公開いたします。

溪斎英泉と歌川廣重が描く江戸時代後期の中山道六十九次の旅や生活の風俗を、二人の浮世絵師それぞれのこだわりの構図や彩色とともに楽しみください。



木曾街道 續ノ壹 日本橋 雪之曙
溪斎英泉画復刻版(当館蔵)



木曾海道六拾九次之内 大津
歌川廣重画復刻版(当館蔵)

中山道は、慶長7(1602)年に徳川家康が東海道の裏街道として宿駅伝馬の制をつくったものです。六十九の宿駅に本陣・問屋等が設けられ、諸大名の参勤交代や幕府の役人・公家・姫君・庶民の旅行など、江戸時代を通じて多様な人々や物が往来する幹線として利用されてきました。

本展では、中山道の各宿場と街道の起点となった江戸・日本橋に加えて、当地・中津川の変わり図「晴れの景」をあわせた計71枚の多色刷浮世絵版画(錦絵)の復刻版を一堂に展示します。上の図は、中山道の起点・日本橋と六十九次最後の宿・大津を描いたものです。

水曜日の講座案内

毎月第3水曜日

文学講座
「島崎藤村文学」
講師 西村 友孝

馬籠出身の文豪、島崎藤村の生涯と作品を学びます。

時間 13:30~15:00

受講料 1回 250円

定員 14名(先着順)

毎月第2・4水曜日

古文書講座
「江戸幕末より明治の歴史を史料にみる」
講師 仁科 吉介

江戸幕末より明治初期の歴史を、中津川の人々の活躍も含めながら史料によってひもときます。

時間 13:30~14:30

受講料 1回 250円

定員 A班 毎月第2水曜日 14名(先着順)
B班 毎月第4水曜日 14名(先着順)

申込 中津川市中山道歴史資料館 受付まで
Tel: 0573-66-6888 Fax: 0573-66-7021

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止・延期になる可能性があります。